

一歩ずつ、少しずつ、しかし確実に進むこと

校長 城 美博

今年には雨の多い夏でした。長崎県内では災害が発生し、尊い命が失われました。幸い本校に関係するところでは大きな被害は出なかったようすがいましたが、降り続く雨に怖い思いをされた方や不安な思いを抱いた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染症による社会生活への影響は、すでに1年半を超える時間が経過し、当初は想像もしなかったこのような生活に、私たちは感染防止を念頭に置きつつも、早くコロナ前のような生活に戻りたい、できることならこの鬱屈に満ちた時間が早く進んでくれないものか、とさえ考えてしまいます。今後の見通しがつかない視界不良と、平時なら何の問題もなくできることにも制限がかかる不自由さで、閉塞感は募る一方です。

そんな折、私は二つのことに思いが至りました。一つは、中国の古典「老子」の一節です。

九層之台、起於累土 千里之行、始於足下 (六十四章)。

これは、「九層の台も累土より起こり、千里の行も足下より始まる」と読み、「九層建ての高殿も、もともとは小さな土くれを積んだところから起工し、千里の道を行くのも、足もとの一歩一歩から始まる」という意味で、つまり、物事はすべて手近なところから始めなければならない、ということです。仰ぎ見るような高層建築も遥かに続く道のりも、最初は地味な基礎工事やスタートの一歩を踏み出すことから始まるのです。

もう一つは、私の趣味のジョギング(ランニングと呼ぶにはおこがましい)です。時間に余裕があるときには少しまとまった距離を走るのですが、上り坂があったり段差があったり、苦しい思いや危ない思いをしながらも、時間が経過すれば、そしてゆっくりした速度でも走り続けてさえいれば、いつかは目的地にたどり着いて、大きな達成感を味わうことができます。

ところで、9月初旬に予定していた体育大会と西高祭は、やむを得ず形を変えての開催といたしました。体育大会は体育発表会として縮小し(9月22日に実施)、西高祭は文化部発表会として形態を変えて行う予定です。生徒の皆さんには、若いエネルギーの発散の場、あふれる創造性の発揮の場、そのような場を狭めてしまったことに、私としては心苦しい思いです。しかし、このような状況下だからこそ、できることを一歩ずつ、少しずつ、確実に進んでいくことで、今できること、今やらなければならないことが見えてくると思うのです。

特に3年生の皆さんにとってこの時期は、進路実現に向けて心中穏やかではないところであろうと推察します。しかし、まずは自分にできること、やらなければならないことから始めなければなりません。私たちは、一歩ずつ、少しずつ、しかし確実に進むことによってしか、状況を変えることはできません。決

体育発表会

昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の体育大会は中止となり、代替として『体育発表会』を実施しました。無観客という苦渋の決断の中での実施ということで、保護者の皆様へは生徒たちの一生懸命な姿をお見せすることができず大変申し訳ありませんでした。体育発表会前夜には強い雨が降り開催が心配されましたが、当日は天気にも恵まれ朝から生徒・職員で会場設営し、午前中のみでの開催となりました。

【結果】(応援の部) 優秀賞 黄ブロック (ブロック対抗リレー) 1位 黄ブロック
(学級対抗リレー) 1年 1位 男子1組 女子6組
2年 1位 男子3組 女子2組
3年 1位 男子3組 女子3組



全国高等学校総合文化祭報告(放送部)

8月4日(水)～5日(木)に、和歌山県のかつらぎ総合文化会館で開催された全国高等学校総合文化祭(2021わかやま総文)放送部門に、3年西村友里と2年山口真奈が参加してきました。

ビデオメッセージ部門に出場しましたが、残念ながら入賞はなりません。コロナ禍の中、強豪校とリアルな交流ができ、次につながる貴重な経験をすることができました。応援ありがとうございました。



インターハイ報告(陸上部)



7月28日(水)～8月1日(日)に、福井県営陸上競技場(9.98スタジアム)にて開催されたインターハイに参加してきました。

3年岩崎萌が走高跳に、また男子短距離チームメンバーが4×100mリレーに出場しました。ともに予選敗退という悔しい結果になりましたが、貴重な経験を積むことができました。応援ありがとうございました。

探究活動報告・今後の展望（1学年）

1学年では、8月から9月にかけて、「データ分析プログラム」のまとめとして2回の授業を行いました。

探究を行う際に必要な、グラフの読み取りとその背景に目を向けて解釈することの重要性を学び、実際の分析力を身につけることができました。これまで取り組んだプログラムが、これからの探究学習につながるだけでなく、教科の学習だけではなく、自分の生き方=マイプロジェクトにもつながっていくことを、担任の先生それぞれの「マイプロジェクト」を話してもらうことで、理解することができたと思います。

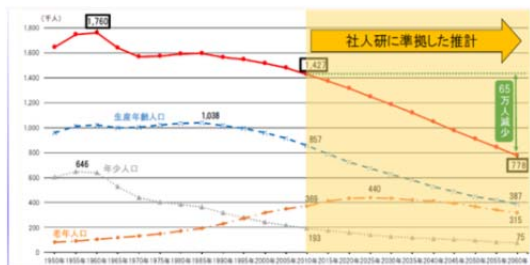


また、8月23日（月）には、オンラインで大正大学教授浦崎太郎先生の講演をお聞きしました。今なぜ探究学習を行う必要があるのか、大学での学びとはどのようなものか等について、今後の社会のあり方を踏まえてわかりやすく教えて頂きました。生徒たちは今後の探究学習に向けて気持ちを高めることができたと思います。「探究は全ての学習につながる」という気持ちを持って、学力向上や部活動の競技力向上に向けても「探究」していきましょう。今後は「SDGs」について学び、より自分のキャリアを見据えた地域課題探究学習を進めていきます。

2年生 ふるさと創生 活動報告

8月19日（木）ふるさと創生大作戦の学年発表会を実施しました。およそ1年かけて探求してきた内容をパワーポイント資料にまとめ、職員、生徒たちに発表しました。その中から選出された班は、今後上位大会に進み、全国規模のコンテストにも応募します。

さて、後期は文系・理系ともに課題研究に取り組みます。文系は今年初の取り組みとして、仕事の魅力や働く意味などをまとめた「SASEBO 仕事図鑑」の作成を目指します。理系は大学等と連携し、与えられたテーマに沿って研究を深めていきます。探究活動が今後の学びに好影響となることを願います。



<佐世保の人口の移り変わりのデータ>



<白浜海水浴場の漂流物の研究>

主な試合などの結果

<陸上部>

○第76回国民体育大会陸上競技長崎県予選会

少年 B100m 第1位 1-2 中川穂泉、少年 A300m 第2位 3-3 大串翔大
少年 A300mH 第2位 2-3 青井颯汰、女子成年走高跳 第2位 3-6 岩崎 萌

○第76回九州陸上競技選手権大会

女子ジュニア走高跳 第2位 3-6 岩崎 萌

○令和3年度長崎県高等学校新人体育大会陸上競技大会

男子 100m 第1位 1-2 中川穂泉、400m 第3位 2-3 森 豪太
110mH 第2位 2-3 岩村勇希、400mH 第2位 2-3 青井颯汰
4×100mR 第2位 1-6 大谷朔乎、2-3 岩村勇希、森豪太、1-2 中川穂泉
4×400mR 第2位 2-3 岩村勇希、1-2 中川穂泉、2-3 森豪太、青井颯汰

(全て九州大会出場)

<コーラス部> ○第59回長崎県高等学校音楽コンクール 声楽部門 銅賞 2-4 福井美結

<書道部>

○令和3年度第20回長崎県高等学校文化連盟書道部門 揮毫大会

優秀賞 2-3 宮城心々実(九州大会出場)、2-2 西澤礼華、2-3 山野陽菜

○第55回記念弘法大師奉賛高野山競書大会

審査委員長賞 2-3 宮城心々実、

推薦 2-3 山野陽菜、特選 3-4 坂井優香、2-3 桑原理緒

◎その他 ○表彰状 1-3 山科南樹

8/25 上相浦駅にてホームから転落の恐れのある女性を発見し、迅速的確な対応により女性の人命救助に貢献しました。

≪10月～11月上旬の主な行事予定≫

10/6	水	校内球技大会(2年生)
7	木	大学入学共通テスト100日前集会・受験説明会(3年生)
8	金	前期終了日 校内球技大会(1年生)
9	土	秋季休業日(～11日)
12	火	後期始業式 後期各種委員任命式 表彰伝達式
14	木	ふるさと創生学年発表(2年) 人権教育(5校時)
19	火	木曜日の授業 長崎大学講義体験(1年生)
20	水	消費生活講座(1年生)
21	木	火曜日の授業 消費生活講座(1年生)
28	木	芸術鑑賞会
11/2	火	育友会研修会
4	木	人生の達人セミナー
6	土	対外記述(1・2年) 大学別模試(3年)
7	日	対外記述(2年) 第2回英検2次
10	水	マラソン大会
11	木	マラソン大会(予備日) 歯科講話

